

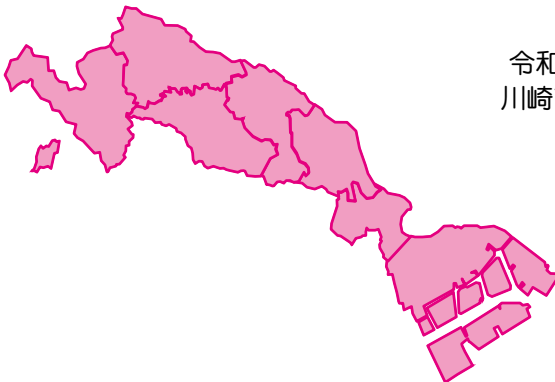
## 発刊に当たって

川崎市は、令和6（2024）年7月1日に市制100周年を迎えました。大正13（1924）年に人口約5万人からスタートした本市は、昭和48（1973）年に100万人を超え、本年、人口155万人を擁する大都市へと成長し、多くの先端産業が集積するとともに、文化芸術やスポーツなど多彩な魅力を持つ都市として今なお成長を続けています。その発展の礎となっているのは、新しい人々や文化を温かく受け入れ、変化に寛容な風土によって育まれてきた「多様性」です。これからもその価値を大切にして、皆様と共有しながら、次の100年へとつなげていきたいと思っています。

人口が増加し、都市の成長が続く一方で、年少人口はすでに減少傾向に転じており、生産年齢人口のピーク、超高齢社会の到来が目前に迫っております。このような中、持続可能な市政運営の実現に向けては、市民に真に必要なサービスを見極めることや、限られた資源や人材を必要な事業に充てるため、事業の見直しを行うことなどが重要です。これらの課題解決に向けて、統計情報を用いて状況を把握することは、今後ますます重要な手法のひとつとなっています。

この「統計データブック」は、「川崎市統計書（令和5年版）」及び「大都市比較統計年表（令和4年）」などから、市民生活に関わりが深い統計情報を引用して体系的に整理し、グラフや解説を加えて分かりやすく編集しています。

本冊子を通して、多くの皆様に本市の現況について理解を深めていただければ幸いです。



令和6（2024）年11月  
川崎市長 福田 紀彦

# 令和6年版 川崎市統計データブック 目次

<b>I 川崎市は市制100周年を迎えました</b>		<b>1</b>	36	ごみの処理状況	45
1	人口のあゆみ	2	37	刑法犯認知件数	46
2	川崎市の就業状況	5	38	火災発生件数	47
3	川崎市の産業	6	39	交通事故発生状況	48
4	川崎市の鉄道	7	40	こども・学校 認可保育所の概況	49
5	川崎市の地価推移	8	41	小学校・中学校の概況	50
<b>II 市勢データ</b>		<b>9</b>	42	福祉・健康 生活保護の概況	51
1	人 □ 人口の推移	10	43	介護保険の概況	52
2	区別人口	11	44	出生と死亡	53
3	人口の自然増減と社会増減	12	45	住 居 着工新設住宅	54
4	年齢別人口	13	46	住宅の概況	55
5	昼夜間人口	14	47	選 挙 選挙	56
6	労働力状態	15	48	財 政 市税収入額	57
7	外国人住民人口	16	49	市 民 意 識 市民要望・評価と定住状況	58
8	婚姻と離婚	17	<b>III 大都市データ</b>		
9	事 業 所 産業別事業所数及び従業者数	18	1	人口・世帯数及び面積	60
10	区別事業所数及び従業者数	19	2	人口動態	60
11	区別の産業別事業所数	20	3	年齢別人口	61
12	区別の産業別従業者数	21	4	有業者	61
13	従業者規模別の概況	22	5	事業所（民営）	62
14	資本金階級別の概況（会社企業）	23	6	製造業（従業者4人以上の事業所）	62
15	農 業 農業概況	24	7	商業	63
16	区別の農業概況	25	8	貿易	63
17	工 業 工業概況	26	9	住宅	64
18	区別の工業概況	27	10	消費者物価地域差指数	64
19	産業別の工業概況	28	11	市（都）民経済計算	65
20	従業者規模別の工業概況	29	12	治安及び災害	65
21	商 業 商業概況	30		「ちよっと一服」川崎市民の消費傾向	66
22	卸売業の概況	31	<b>IV 川崎市近隣市区データ</b>		
23	小売業の概況	32	1	川崎市近隣市区地図	68
24	百貨店・スーパーの概況	33	2	データ一覧	69
25	貿 易 ・ 経 済 入港船舶	34	<b>V 基礎データ</b>		
26	海上出入貨物	35	1	川崎市	72
27	卸売市場	36	2	川崎区	73
28	賃金・労働時間	37	3	幸 区	73
29	有業者	38	4	中原区	74
30	一般職業紹介状況	39	5	高津区	74
31	経済活動別市内総生産（名目）	40	6	宮前区	75
32	都市生活基盤 水道	41	7	多摩区	75
33	下水道	42	8	麻生区	76
34	市バスの運輸状況	43			
35	主要駅の1日平均乗車人員	44			

## 利用上の注意

端数処理の関係上、各数値の総数と内訳の合計が一致しない場合があります。  
統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「0」、「0.0」……単位未満

「—」……皆無又は定義上該当数字がないもの

「▲」……マイナス又は比較減を表す

「X」……該当数字はあるが発表を差し控えたもの

「…」……数字が得られないもの